



# SPA145FR-A

## 難燃性ポリアミドSHARNET®ウェブ接着剤

### 主な特長

- 液体型以上の扱いやすさ。
- 様々な基材に対する優れた接着性。
- 優れた難燃性。

### 概要

SPA145FR-A Sharnet®ウェブ接着剤は、不織布の形態でご利用いただける難燃性のホットメルト接着剤です。ウェブ接着剤は、布地のように扱えますので、断続工程も連続工程も容易に行えます。SPA145FR-Aは、ドライクリーニング用の溶剤に非常に強いです。非燃焼複合材を生産する際、他の難燃性基材の補強に難燃性接着剤は欠かせません。本商品の難燃性は、そうしたテキスタイル積層材での使用に対応できるように開発されたものです。SPA145FR-Aは、様々なテキスタイルやウレタン発泡材、可塑ビニールと接着します。

### 特長

- ・ 優れた耐熱性。
- ・ デカブロモジフェニルエーテルや三酸化アンチモン非含有。
- ・ ウェブ型にすることで、液体型より取り扱いや加工が容易。

### メリット

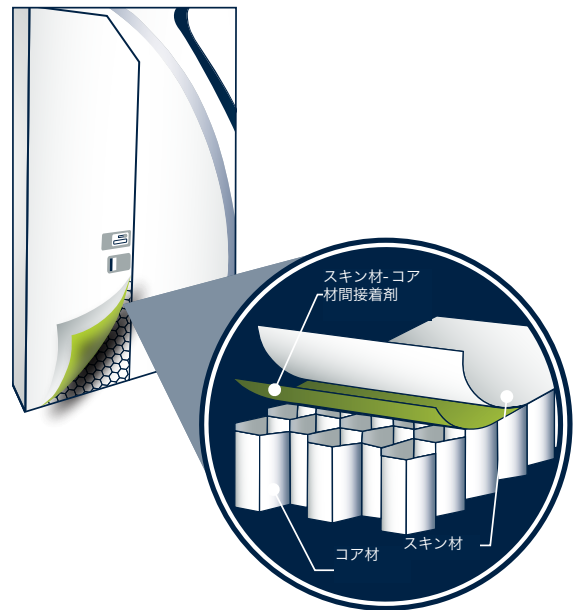
- ・ 優れた耐熱性。
- ・ 優れた耐可塑性。
- ・ 難燃性構造を補強する配合。

### 基本的な用途

- ・ テキスタイル積層材。
- ・ 構造用積層材。
- ・ 航空宇宙絶縁体。
- ・ 複合材パネル積層材。

### 使用方法

SPA145FR-Aは、電気溶融プレスや加熱ロール、フラットベッドラミネータなどの手法で活性化することができます。赤外線加熱による活性化は、Sharnet®商品には適していません。



スキン材とコア材の接着

熱活性化装飾アタッチメント

### 通常の物理特性

内容	仕様
基材	ナイロンポリアミド
質量範囲	0.5-2.1 oz/yd <sup>2</sup> (17-71 g/m <sup>2</sup> )
幅	最高74インチ (188cm)
色	ホワイトからオフホワイト
SAFT耐熱性	284°F (140°C)
BSR融点	289°F (143°C)
最低活性化温度	302°F (150°C)
推奨活性化温度	320°F (160°C)

熱活性化には320~392° F (160~200°C) の接着層温度が必要です。再活性化時間は、手法や温度、圧力、基材、材料の厚さにより変わります。条件は、基材によって変わります。工具温度またはベルト温度を347~374° F (175~190°C) とし最低活性化温度で、満滞留時間を20~30秒とするよう推奨されます。次の作業に進む前に、積層材構造を室温まで下げる必要があります。

#### 荷姿

SPAI45FR-A Sharnet®ウェブはロールでの販売になります。通常、長さ500フィート (152.4メートル) で、コア内径は3インチ (7.6cm) です。荷姿の詳細につきましては、最寄りの営業または技術担当者にお問い合わせ下さい。

#### 保存期間

SPAI45FR-Aの保存期間は730日です。本商品は、130° F (54°C) 以下の温度で出荷し、保管してください。

#### 健康上及び安全上のご注意

詳細につきましては、SDSをご参照ください。

#### 製品保証

保証につきましては、[www.bostik-us.com](http://www.bostik-us.com)をご覧ください。保証は、法律が許す最大限まで、商品性の保証や特定目的適合性などこれらに限らず、明示的にも黙示的にもいかなる保証をいたしません。保証で特に規定がない限り、保証に違反した場合の唯一の救済方法は、商品の交換か、購入代金の返金です。当社は、法律が許す最大限まで、直接損害、付随的損害、派生的損害、または特別損害に対していかなる責任を負うものではありません。黙示的保証の免責は、特定のクラスの購入者には適用されません。またある特定の州には付随的損害や派生的損害の除外または限定を認めていないため、上記の限定がお客さまに適用されない場合がございます。製品をご使用になる前に、本来の目的に対する商品の適合性を試験するのは購入者の義務です。保証が及ぶのは元の購入者のみで、移転または譲渡はできません。不具合商品に対する請求の申し立ては、問題の発見から30日以内に必ず行い、購入証明書類と一緒にご提出ください。

<お問い合わせ> \_\_\_\_\_



極東貿易株式会社 新素材部

〒100-0004

東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル7階

TEL 03-3244-3846

E-mail : [amd.hp01@kbk.co.jp](mailto:amd.hp01@kbk.co.jp)

URL: <http://www.kbk.co.jp/>

本書は、既刊の全ての資料に取って代わるものとする。  
10.01.14